

富山市長選挙自由民主党候補者予備選挙 公報

「地域の絆」を深め「共助の力」を強化

コロナ禍により、生活様式や働き方、また価値観までもが大きく変わろうとしています。

これからの市長に求められるのは、過去やしがらみに囚われることなく、人口減少社会をしなやかに乗り切る柔軟性とバランス感覚だと考えます。

子や孫の世代に豊かなふるさとを残すため、議会や市民の皆さんと手を携え、対話の中からひとつひとつ答えを導き出していきます。

市民協働のまちづくりの推進

- 自治振興会・町内会の取り組みの支援拡充
- 自主防災活動や地域の見守り活動などへの支援拡充

市全体の均衡ある発展

- 辺地・過疎地域の底上げ
(生活インフラの維持・辺地債・過疎債の積極的な活用)
- 重要公共インフラは、県と協働の仕組み創設

地域循環型社会の構築

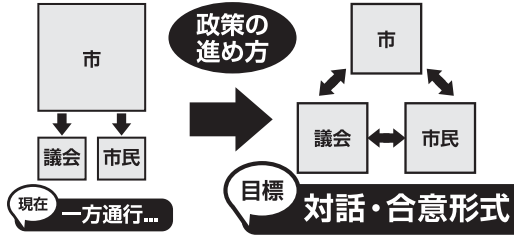
- バイオマス発電と連携した里山整備の促進
- 家族ぐるみ・地域ぐるみの農林水産業支援

災害に強いまちづくりの推進

- 大規模災害予報の際の迅速な災害対策本部の設置
- 速やかな情報提供と国・県と連携した被害対応の強化

「選択と集中」に向き合う

人口減少・少子高齢化の中では「選択と集中」は必要不可欠です。
厳しい選択は「迫る」「突きつける」のではなく、
そこに住む人たちと答えを導き出すことが重要と考えます。



プロフィール

- 堀川南小学校・堀川中学校 卒業 ●富山第一高等学校 卒業
- 国立名古屋工業大学工学部 卒業
- 土木建設コンサルタント会社で勤務(主に公共事業の計画策定を担当)
- 東日本大震災避難者生活支援団体「とやま311ネット」代表(現在は解散)
(厚生労働大臣より感謝状を授与)

主な活動・実績

- 富山市行政改革推進委員(H20~22年)
- 自民党富山県支部連合会青年局主催 政策コンテスト2年連続最優秀賞
(H24「不妊治療」と「就労・雇用」が両立できる社会を目指して)
(H25「南海トラフ地震を想定した被災者受け入れプラン」)

常任委員会

- 厚生委員(H29~H30)／福祉保健部・子ども家庭部・環境部・市民病院等
- 総務文教委員(R1~R2)／企画管理部・教育委員会・財務部等

市民満足度向上宣言。



ひくろのり
ひろのり
昭和53年8月1日 富山市出身(42歳)

やれっこないをやらなくちゃ。未来トヤマ(大)作戦

コロナ復興、高齢化、少子化、安心安全な暮らし……山積する課題の中で未来の富山市を創るには、さらなる市政のパワーアップが必要です。
企業とメディアと福祉で実績を積んだ藤井大輔なら、必ず実行できると約束します。20年後も希望があふれる未来トヤマを共に作りましょう!

分かりやすいPR

政策は伝わらなければやらないのと同じ。富山市の編集長藤井大輔が市民にわかりやすくお伝え。

デジタル戦略の推進

デジタル戦略は未来に必要な不可欠。専門家を招聘し、市民中心の便利なデジタル行政を推進。

藤井大輔 4つの大作戦

市長ひとりの力だけでは、富山市の未来は変えられません。市の政策形成力を高めること&地元を良くしたい皆さんの力を借りることで、実行力高い市政を作ります。

市役所のパワーアップ

上場企業並の戦略・マネジメント力の向上&有能な公務員が活躍できる組織変革の実現。

市民と企業と協働共創

富山市を大切に思うすべての人と企業と協働共創し、従来以上に地域活動を積極的に支援。

応援メッセージ

埼玉県和光市市長 松本武洋さん
藤井大輔さんはチームのメンバーに自由に発想させ盛り上げる天才です。市長として、リーダーシップを考えると、常に参考になっている優れたリーダーです。

月刊『ダ・ヴィンチ』前編集長 横里陸さん
東京で画期的メディアの創刊編集長として活躍した藤井大輔は、時代を見る力と変える力を持っている。必ずや富山市をよい方向に導いてくれるだろう。

プロフィール

ふじいだいすけ●富山市生まれ。新庄中学校、富山中部高校、大阪大学経済学部卒。政治家以前は、(株)リクルートにて、フリーマガジン『R25』編集長として毎週60万部発行する。40歳を機に地元・富山に戻り、社会福祉士として高齢者福祉事業に携わる。2児の父。2019年富山県議会議員に初当選。

公式サイト



ふじい
だいすけ
藤井
大輔
(48歳) 昭和48年1月19日

つないでいこう!

次の富山へ

コンパクト & ネットワーク

心と心をつなぐ開放感あるまちづくり

新しい日常 新しいとやま

まちづくりに民間活力

雇用と福祉を両輪で

コロナに強い社会環境整備

人と人の距離は離れても...

公共交通でつながる ▶ デジタルでつながる ▶ 伝統文化をつなげる ▶ 県と市がつながる ▶ そして未来へつなぐ...

地域経済

- ・業種転換や新たな事業機会を支援
- ・制度融資の見直しと起業ファンドの創設
- ・スタートアップのマッチング支援

医療・福祉・子育て環境

- ・医、介(DX化)現場の負担軽減
- ・障がい者視点の行政
- ・学童保育充実と24時間保育支援

市民生活の質の向上

- ・地域生活拠点の居住環境を整備
- ・公共交通と連動した地域交通の充実
- ・様々なスポーツを推進し健康増進

まちなかの賑わい

- ・オープンテラスや道路占用活用
- ・都市公園での官民連携事業の創出
- ・民間の再開発事業を後押し

防災減災対策

- ・複合災害を想定した避難所運用
- ・排水管・貯留槽などの管理徹底
- ・社会インフラの適正な整備

中山間地域振興

- ・魅力発信による関係人口増加
- ・民間活力によるイベントや事業を推進
- ・特産品等の開発や作付けを支援

農林水産業と有害鳥獣対策

- ・スマート農業、漁業による成長産業化
- ・公設市場の整備と農業者との連携推進
- ・県と連携した有害鳥獣対策を実施

プロフィール

富山第一高校卒。富山信用金庫(25年間勤務)。現場目線のコンサルタントと創業支援に注力。藤の木支店 支店長、橋本支店・五福支店 統括支店長を経て、富山市議会議員選挙出馬のため退職。
●平成28年11月 富山市議会議員初当選 ●平成29年4月 富山市議会議員2期目当選。
●平成30年3月 富山市監査委員。●平成31年3月 富山市議会議員 就任。現在に至る。

【家族】妻、長女(大学4年生)、次女(短大2年生)、長男(高校2年生)、両親

現在

富山市南部支部 保護司／富山市消防団堀川分団／防災士／スペシャルオリンピックス日本・富山 監事／TEAM AVANTE 理事／富山ボーイズ 顧問／富山商業高校PTA副会長／堀川中学校TH会 顧問／富山県トライアスロン協会 副会長／富山市ラクリー協会 顧問／富山市私立幼稚園・認定こども園協会 顧問／富山第一高校硬式野球部OB会副会長／社会福祉法人わかば福祉会評議員・後援会会長／一般社団法人医療従事者支援団体 理事／堀川体育協会 参与／富山南部地区少年野球協会 参与／堀川クラブ 顧問／ニューヤング富山 顧問



しやがわ
とよや
1973年(昭和48年)
10月1日富山市で誕生
47歳



柳平太郎 (ひらき たろう)
昭和59年5月15日生まれ (36歳)

「スマート・シチズン・人間らしくデジタル社会を生きる」

守り攻める! シン・富山

スマート・シチズンとは... デジタル技術をもとに、人の生活に寄り添った形で活用する市民視点によるスマートシティづくり。

3つの視座「市民視点」、「先手」(フットビュ型)、「実験思考」(アジャイル)

「人を起点とした日本一暮らしやすいスマートシティ」 スマート・シチズン構想

子育て応援 地域の宝をみんなで守る

- 「子育て完全無償化」の実現と初産の重視
- 食事を届ける「宅食」で家庭を見守る!
- 学校現場へ民間人材の積極登用 など



持続可能な経済 攻める地域経済

- ICT・DX化を促進条例で後押し!
- 教育一体型の人材流動化で人が輝く
- インフラ技術の革新で土木建築業が輝く など



市役所のデジタル化 地域格差の無い行政

- 地区センターの機能強化と人員拡充
- データに基づく政策立案 (EBPM)
- 市役所での手続きを超簡単に! など



新型コロナ対策 命を守る

- 「医療介護・最適化チーム」の設置
- ふるさと納税等で新たな支援財源を確保!
- 地域の飲食店に積極発注できる仕組み作り など



平木柳太郎 ひらき たろう
プロフィール
富山県出身 (藤ノ木中、富山高専理数科卒) □富山県立富山東高校卒、富山県立富山南高等学校卒業後、富山県立富山南高等学校教諭。□2009年 (株)アイバック勤務。□2009年 (株)ランネットを創業し社員教育やシニアオフィス、学童保育等を展開。□2012年県議補欠選挙で初当選 (48133票、現在3期)。党県連青年局長、市連遊説局長を務める。



少子・高齢・人口減少が進むことに加え、新型コロナウイルス感染症がもたらす出生数の減少、自殺の増加... 危機的状況にあるからこそ、医療・保健・福祉のプロとして立ち向かう必要がある。それが市長選への決意の理由です。



たねベ きょうこ

昭和39年10月14日生

種部恭子 (56歳)

医療・福祉

科学的根拠に基づいた医療・保健。現場ファーストの福祉。

子育て・教育

子どもの「育ち」最優先。子どもの権利を重視した教育と児童福祉に。

暮らし

行政サービスを当事者・納税者の感覚でわかりやすく、使いやすく。

医療・保健・経済・人口減少対策

新型コロナウイルス感染症を乗り越え、新しい働き方と暮らし方で反転攻勢に。

社会資本・環境

人口減少社会における持続可能なまちづくり。SGDs未来都市の更なる深化。

経済・産業

性別、年齢、国籍、障がい等を問わず、多様性を手カラに。とくに女性の活躍を鍵に。

私が目指す重点政策

【略歴】 西田地方小学校、南部中学校、富山中部高等学校理数科、富山医科薬科大学医学部医学科卒。富山医科薬科大学大学院医学研究科博士課程修了。産婦人科医。富山大学医学部産科婦人科学教室、済生会富山病院産婦人科医長等を経て、医療法人社団藤聖会女性クリニックWe!TOYAMA院長。【公職等】 平成31年富山県議会議員に初当選、現在富山県議会厚生環境委員会副委員長。内閣府第5次男女共同参画基本計画策定専門調査会委員、内閣府男女共同参画会議重点方針専門調査会委員、内閣府女性に対する暴力に関する専門調査会委員、富山県医師会常任理事、日本産婦人科医会常務理事等を兼任。富山県教育委員会教育委員 (平成14~17年)、富山県男女共同参画推進審議会委員 (平成17~31年、平成20年~会長)、富山県市学校保健産婦人科専門医 (平成7~30年)、富山県教育委員会教育委員 (平成20~28年) などを務め、富山の教育、子育て・少子化対策、女性政策などにかかわってきました。

さあ、始めよう! 幸せ日本一とやま!!

未来をつくる責任!!



藤井裕久 (ひろひさ ふじい)
1962年4月5日 (58歳)

スピード重視・現場重視・連携重視

緊急政策 守る未来

- コロナに打ち勝ち力強く前進!
- 医療・福祉現場への支援強化 ○事業者等への支援強化
- 行政・市民の危機対応能力強化 ○雇用対策の強化
- 社会的・経済的弱者に対する支援強化 ○行政間連携の強化

教育政策 育む未来

- ひとづくり日本一とやま!
- ICTによる個別最適化された学校教育の推進
- ふるさと教育の推進 ○環境教育の推進
- 地域教育の推進 ○健康教育、食育の推進
- 地域参加型の学校再編の検討・推進

社会政策 創る未来

- まちづくり日本一とやま!
- SDGs 未来都市計画の推進 ○スマートシティ政策の推進
- コンパクトシティ政策の検証及び推進
- 少子社会・超高齢社会への対応 ○多様な公共交通網の整備
- 地域の魅力を活かした選ばれるまちづくり
- 持続可能な都市・郊外・農山村・中山間地域の均衡ある発展
- 国土強靱化とレジリエンス戦略の推進
- 多様性を受け入れる社会の実現

経済政策 稼ぐ未来

- 豊かさづくり日本一とやま!
- デジタル革命の推進 ○協働・連携による技術革新の創出
- 中心市街地の活性化による安定財源確保
- 女性活躍社会の推進 ○地域循環型経済の推進
- 起業家への支援とベンチャー企業育成
- スマート化による稼く農林水産業の実現
- 全産業における担い手の育成

環境政策 繋がる未来

- 環境づくり日本一とやま!
- 環境モデル都市・環境未来都市政策の推進
- 地域循環型社会の推進 ○自然環境保護の推進
- 低炭素社会の推進 ○再生可能エネルギーの推進
- 都市と農山村交流の推進

(プロフィール)

富山県立富山東高校卒、工学院大学卒。自民党歴30年、町議・市議・首長・国会議員選挙や党活動に主体的に関わる。PTA・青年会議所・経済同友会・商工会・消防団や町内会などの活動を通して、人や地域の繋がりの大切さや、まちづくりに対する政治の重要性を学ぶ。平成23年初当選・現在県議会議員3期、自民党富山県連政調会長を務める。

党員投票は1月29日(金)までに郵便事業(株)富山南郵便局に到着した投票用紙(私製葉書)を有効とします。

告示日: 令和3年1月20日(水)
開票日: 令和3年1月31日(日)

この選挙公報は、候補者の原稿をそのまま写真製版したものです。